

薬のプロ お宅に薬剤師がお伺いします。

薬剤師による 在宅訪問のご案内

医療・介護保険制度を利用して、薬剤師の訪問サービスを受けることができます。
まずは、お気軽にご相談下さい。

薬の管理ができない
飲み忘れてしまう



飲みづらい、飲んでくれない
服薬の介助に時間がかかる



飲んでいる薬の
飲み合わせは？



何に効く薬か
わからない



例えばこんな時、「薬剤師の在宅訪問」は解決策のひとつになります。
薬剤師による在宅訪問をご希望される場合は、利用されている薬局に相談していただくか
かかりつけ医やケアマネジャー等へお伝えください。

薬剤師は、地域の医療・介護の専門家と
チームを組んで在宅医療に取り組んでいます。



在宅服薬支援事業

高知家 お薬プロジェクト

どんな取り組み？

服薬状況が
気になる患者さんを
多職種が連携して
服薬サポートし、
薬物治療の効果を
高めます。



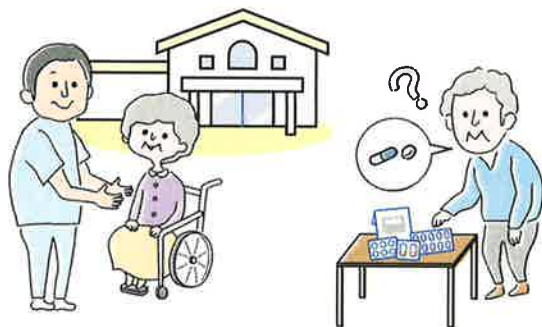
服薬状況が気になる患者さん・利用者さんは いらっしゃいませんか？

薬局薬剤師にご相談下さい。

訪問看護師、介護支援専門員、ヘルパー等（多職種の皆さま）

服薬状況が気になる
患者さん・利用者さんが
いらっしゃる場合

*患者さんご本人やご家族からの相談がある
場合も含みます

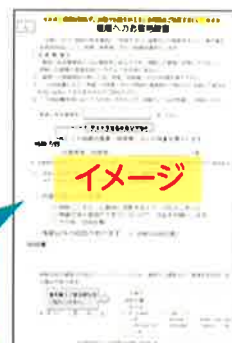


患者（利用者）の同意を得たうえで、
薬局薬剤師へ情報提供

薬局への連携ツールの一つとして、
「薬局へのお薬相談書」（様式A）を
ご活用ください。

なお、様式Aの使用の有無は
問いません。
お電話でもかまいませんので、
お気軽にご相談下さい。

高知県薬剤師会
ホームページから
ダウンロードできます。



かかりつけ医・歯科医

情報共有



薬局

事業目的

医療・介護関係者が連携して、高齢者等の
在宅での服薬状況を改善することにより、
薬物治療の効果を高める。

本事業を通して

- ①多職種と薬局・薬剤師の連携を強化して
まいります。
- ②安心して在宅医療（療養）ができる環境を
整備してまいります。

- 処方医との情報共有（照会等）
- 情報提供者への状況聞き取り
- 状況に応じて患者宅へ訪問
（医師の訪問指示の有無によらない）
- 適正な服薬ができていない理由別の
対応
- おくすりバッグを活用した
残薬整理、重複投薬の確認



▶ 対応結果は情報提供者
（多職種）、処方医へ報告

*** 残薬に限らず、お薬でお困りのこと、お気軽にご相談下さい。 ***

薬局へのお薬相談書

A

薬袋にある薬局名：

様

(Fax.)

必ず確認して、チェックをお願いします

対象患者 (利用者)	〔 〕 様 ☐ 対象者の同意済み ※対象者名の記載がない場合は、薬局から確認のお電話をさせていただきます
相談内容	☐ お薬が残っています 〔 ☐ 調剤してもらった薬局に持参するよう伝えました ☐ 残薬が多く整理ができていないので、対応をお願いします ☐ その他（自由記載： ） 〕 ☐ 残薬以外の相談があります → 詳細は自由記載へ ※該当する項目にチェックマークをお願いします（複数チェック可） また、参考となる情報がございましたら、自由記載欄にご記入ください
自由記載	

多職種の皆様からの情報をもとに、患者（利用者）様の医薬品の安全使用のための服薬支援を行います。この相談書を使わなくてもかまいませんので、お薬のことは薬局へ気軽にご相談ください。

【注 意 事 項】

1. 薬袋にある薬局名と Fax 番号をご記入のうえ、調剤元の薬局へ送信して下さい。
直接お渡ししてもかまいません。
2. 薬局への情報提供にあたっては、患者（利用者）様の同意を得てから行うようお願いします。
3. 患者（利用者）様の様子のかかりつけの医師や薬剤師等へ相談（報告）することはお薬を安心して使うために大変重要なことです。相談側の不利益となることはありません。
4. 相談内容の確認や対応の報告のため、薬局から電話等でお話をおうかがいする場合があります。

（送信元）

施設名： _____

TEL： _____

担当者： _____

【担当者職種】

- ☐ 医師 ☐ 歯科医師 ☐ 薬剤師（病院・薬局）
☐ 介護支援専門員 ☐ 訪問看護師 ☐ 介護福祉士・介護士
☐ その他（ _____ ）

送 信 日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

高知県薬剤師会 在宅服薬支援事業